

消石灰の散布方法

国内では高病原性鳥インフルエンザ、豚熱に加えてランピースキンの発生が確認されています。病原体農場侵入防止として消毒の徹底をお願いしていますが、消毒薬を正しく使用しないと、十分な効果は得られません。今回は畜産現場で使用頻度の高い消石灰について紹介します。

1. 消石灰は畜舎周囲及び農場外縁部に散布

★散布の目安は0.5kg/m²

★箒などを使用し、地面がまんべんなく白く均一になるように

2. 水を追加すると強アルカリ化する

★効果は2週間程度

★1週間に1回、追加散布

⇒空気に触れると効果が減少 & 粉のため、飛散しやすい

★粉の状態に水を追加すると効果大

⇒じょうろ等で床を濡らし、石灰乳として使用

3. 野生動物対策

★野生動物の足裏等に付着した病原体の不活化

★忌避効果を期待

**消石灰は、強いアルカリであることを忘れずに、
周辺環境に配慮しながら散布してください。**

東濃家畜保健衛生所

TEL : 0573-26-1111 (内395) FAX : 0573-25-7669

休日・夜間に連絡の必要な場合は、警備室0573-26-1114 に電話し、
「家畜保健衛生所に緊急に連絡が必要」と伝え、警備員が家畜保健衛生所職員におつなぎします。